

平成27年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

岐阜県立飛騨高山高等学校 学校番号 58

1 学校教育目標	(1) 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 (2) 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技能を身につけさせるとともに、創造性あふれた明朗快活で心豊かな人間性を養う。
2 現状の分析	○本校を選んでよかったと感じている生徒や保護者が多く、生活面や学習面等概ね充実した高校生活を送ることができている。 ○大きな学校ではあるが、一人一人の特性や希望に沿った学習ができる環境が整えられている。 ▲キャンパスや学科をこえた交流や活動は増えてきているが、生徒がお互いを刺激し合い、豊かな経験となるようさらに充実させていく必要がある。 ▲社会貢献や地域とのつながりを視野に入れ、教育活動のさらなる改善を図っていくことが必要である。
3 学校の抱える課題	・あらゆる教育活動において言語活動の充実を図り、生徒の自主的・主体的な学習態度を育成する。 ・地域社会と緊密に連携したキャリア教育を進め、地元飛騨に積極的に貢献できる「地域社会人」を育成し、生徒一人一人の夢の実現を図る。
4 今年度の具体的な重点目標	◇各学科の生徒が、他の学科の学習内容や学ぶ姿を知り、高め合うことができるようにする。また、生徒の自主的・主体的な学習態度を育てる。 ◇活発な部活動、特色ある部活動で学校生活を充実させる。また、生徒会活動を活性化させ、生徒が主体的に活動する場を設けます。 ◇自己の在り方・生き方を考え、自己実現に向けて努力する態度を育てる。また、地域社会と緊密に連携し、キャリア発達を支援するとともに、地域で活躍する人材を育てる。

年 度 目 標			年 度 末 (途中) 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
(1) 学習活動	①学科・教科間で連携した教育活動の推進	①ぎふ総合型選択制の科目選択状況	①現2年生の希望31.2%（現3年生より6.0ポイント増加）	B	○複数学科を設置する本校の特徴を生かした交流が進んでいる。 ▲職員研修により教員の意識が高まったが、具体的な授業改善をさらに深める。	A B C
	②多面的な学習の機会として学習成果発表会を実施	②学習成果発表会に対する生徒の満足度	②学習成果発表会以外でも、他の学科の学習や夢に触れる機会を大切にしたい。	A		
	③生徒目線の授業改善・授業づくり	③自主的・主体的な学びを実感する生徒の割合	③生徒アンケート結果より、自主的・主体的な学びを実感する生徒91%	B		
(2) 特別活動	①部活動の活性化	①部活動の実績	①女子ハンド部、スキー部、書道部をはじめとする各部活動が成果をあげた。	A	○心や体の成長も大切にする本校の方針が生徒や保護者にも伝わっている。 ▲生徒の自主性・創造性を生かした活動を充実させる。	D
	②生徒会活動の活性化	②生徒会活動の活動状況	②生徒会執行部のあいさつ運動実施。	B		
	③生徒が主体的に活動する場の提供	③MSリーダーズ活動参加状況と活動後の感想	③MSリーダーズ登録者336名（活動継続表彰91名）	A		
(3) 進路指導	①ホームルーム等での適切な進路情報の提供	①生徒の進路実績及び自己評価	①志望する進路先に合格している。（進学56%、就職44%）	B	○事業所等の協力を得て進路関連の行事が充実した。 ▲生徒の特性や能力を最大限に生かす進路指導。	
	②個々の生徒の特性等の把握とそれらに応じた進路指導	②進路に関わる行事（活動）に対する生徒の評価	②「インターンシップ」では、9割を超える生徒が満足と回答している。	A		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成28年1月29日

・学習成果発表会は毎年レベルが上がっており感心させられる。従来のものではない新しい視点と若い感性で夢のあることに挑戦してほしい。
・社会の即戦力となるため、特に英語力を高めることを重点としてほしい。
・学業、部活、検定などに打ち込むことによって社会で通用する人材になる。
・食関連の生産と商品開発をつなぐなど、さらに各学科の連携を図りたい。

12 来年度に向けての改善方策案

・自主的・主体的に学ぶ姿勢を身につけるための具体的な授業実践を交流する。
・英語力の向上など国際化に対応する生徒を育成する。
・生徒の自主性・創造性を育て、それらが発揮できるような両キャンパス合同の生徒会行事を実施する。
・キャリア教育の計画を充実させ、早い時期から夢と進路計画が語れる生徒を育てる。